教育委員会と外部連携（産官学）について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

外部連携について（現状）

戸田市の教育改革の取組（令和7年度版）

■教育委員会の取組
★産官学との連携による取組

【新】：新規事業
【拡】：拡充事業

やさしいまちに、なりたい。TODA

教育改革の重点

産官学との連携による戸田市SEEPプロジェクト

AI（人工知能）では代替できない力やAIを使いこなす力「21世紀型スキル」「汎用的スキル」「非認知（社会情緒的）スキル」の育成を目指す

S：Subject　**E**：EBPM（Evidence-based Policy Making）　**E**：EdTech（Education×Technology）　**P**：PBL（Project-based Learning）

第４次戸田市教育振興計画 PDF資料と紹介動画リンク

※SEEPプロジェクトは、この計画の理念を具体化した愛称です

Subject

教科の本質を捉えた授業改善をはじめ、すべての取組を学びに結びつける

主体的・対話的で深い学び推進のための「戸田型授業改善モデル」
本市独自のルーブリックを核として多角的な授業改善に取り組む

「子供たちに身に付けさせたい力」は何か
- 各学校における具体的な教育目標の設定と教師の意識改革
  - ■具体的な教育目標を設定した「授業力向上プラン」の作成
  - ■本市で作成した「資質・能力ルーブリック」の活用

子供たちが何を学ぶか
- 基礎的な知・徳・体の効果的・効率的な習得
- 産官学との連携による新たな学びの実践

子供たちがどう学ぶか
- アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善の推進
  - ■本市作成「戸田市版アクティブ・ラーニング指導者用ルーブリック」の活用促進（学校訪問時の指導、研究協議会での活用等）
  - ■県及び全国学力・学習状況調査等の分析結果のフィードバック
  - ■学校訪問改革、校内研修の活性化
  - ■県学力調査や教員調査によるルーブリックの検証、改善
  - ■教員研修の高度化（お茶の水女子大学、埼玉大学、国士舘大学との連携）
  - ■ユニバーサルデザインに基づく学級経営と授業実践
  - ■家庭学習及び放課後補習学習支援（民間の塾等への委託）
  - ★共栄大学：教員研修のサポート等
- 本市作成「学級経営リフレクション」の活用促進
- 文部科学省「教育研究開発事業」に係る新たな教育課程の研究【新】

EBPM

「授業」「生徒指導」「学校・学級経営」を科学する
⇒ EIPP（Evidence Informed Policy and Practice）

「戸田市教育政策シンクタンク」の設置
エビデンスベースでの政策づくりを自立的に推進
- ■教育総合データベースの運用【拡】
- ■授業がわかる調査、教員質問紙調査等の分析
- ■多様なスキルを持った教育行政プロや教育DX人材の採用
- ■学校現場におけるデータ利活用推進
- ★外部アドバイザリーボード：大学教授や弁護士等の有識者で構成される諮問会議を開催

- ★国立教育政策研究所：教育施策の効果検証
- ★東京大学：SESと学力調査等の分析
- ★国立情報学研究所、東京理科大学、（一社）教育のための科学研究所：リーディングスキルの視点からの授業改善
- ★（株）LITALICO：ペアレントトレーニングの導入 個別のまなびプランの導入、スクールワイドPBSの効果検証
- ★(一社)UNIVA：RTIモデルによる効果検証
- ★IGS（株）：AiGROWによる教育効果の可視化
- ★ハイラブル（株）：話合いの定量的分析と可視化
- ★Ddrive（株）：データベースのシステム構築とその分析

EdTech

テクノロジー活用による新たな学びの創造

戸田市版SAMRモデルに基づくICTの文具的活用と学びの改革
- ■学校と家庭等をシームレスにつなぐ学び等、新たな学びの推進

- ■全小・中学校にICT支援員を配置
- ■全小・中学校でプロジェクタ型電子黒板を活用
- ■全小・中学校が「学習者用デジタル教科書実証事業」に参加
- ★Google：市内全児童生徒及び教職員にアカウントを付与、「Google Gemini」の活用研修の実施
- ★富士電機ITソリューション(株)：ICT総合サポートにより、コールセンター対応及び巡回支援員を全小・中学校へ派遣
- ★（株）ベネッセ：「ミライシード」の 活用及びICT教育支援員を全小・中学校に派遣、CBTシステム「テストバーク」の活用【拡】
- ★（株）LoiLo：「ロイロノート」の活用及びオンライン研修の実施
- ★（株）ジャストシステム：「スマイルネクストドリル」を活用した学校・家庭のシームレスな学びの研究
- ★（株）EdLog：採点支援システムの活用
- ★（株）COMPASS：「Qubena」の活用

PBL

実生活・実社会のリアルな課題を探究的に解決する学びの推進

- ■アイデア提案に留まらない「実行・検証」までを踏まえた実践型のPBLを推進

〈PBLのプロジェクト類型〉
- ・学級／学校／地域の課題解決
- ・子供主体のルールメイキング
- ・地域連携／企業連携／市役所連携
- ・防災／安全／SDGｓ
- ・商品開発　等

- ■戸田市プレゼンテーション大会（戸田型PBL発表会）の開催
- ★（株）リバネスキャピタル、インテル（株）、フューチャーインスティテュート（株）：プレゼン大会の審査及び指導助言
- ★（一社）アルバ・エデュ：プレゼンに係る研修
- ■PBLに係る地域及び企業等との連携、カリキュラム・マネジメントの推進
- ★インテル（株）、（株）キャリアリンク：Skills for innovation 研修会の実施

STEAM教育の基盤づくり
- ■ハイスペックデジタル工作機械（レーザー加工機）を全中学校に導入【新】
- ■STEAM Labの設置
- ★ダイワボウ情報システム（株）
  中村学園大学、インテル(株)、アドビ(株)、リコージャパン(株)、（株）アバロンテクノロジーズ：STEAM教育の共同研究及び教員研修

多様なニーズへの対応

誰一人取り残されない、一人ひとりのニーズに応じた支援の充実

戸田型オルタナティブ・プランの推進
不登校の未然防止、早期発見・早期対応、適切な支援のための選択肢
- ■多様な学びの場の拡充
- ■不登校対策ラボラトリーの取組深化
- ■社会に開かれたネットワーク構築　■WEBQUの実施【拡】
- ■戸田型校内サポートルーム「ぱれっとルーム」（小）「きゃんぱすルーム」（中）の全小・中学校設置【拡】
- ★埼玉県教育委員会：不登校生徒支援教室「いっぽ」
- ★（特非）カタリバ：オンラインを活用したシェア型教育支援センター
- ★スタンドバイ株式会社：シャボテンログを活用した心の健康問題の早期発見・早期対応

〈不登校対策支援〉
- ★（株）学研エル・スタッフィング：教育支援センター「すてっぷ」運営
- ★（株）トライグループ：教育支援センター「西すてっぷ」運営

〈日本語指導〉
- ■日本語指導担当教員、教育センター日本語指導員の配置
- ■（株）インバウンドプラットフォーム：高性能翻訳機の貸与

〈特別支援教育〉
- ■専門アドバイザーによる特別支援担当教員の指導
- ★（株）LITALICO：学校への訪問支援、共同研究
- ★帝京大学医学部：発達障害専門医による医療相談
- ★（株）学研教育みらい：多層指導モデルMIMの活用 ビジョンアセスメントWAVESの実証

〈教育相談体制の充実〉
- ★東京メンタルヘルス（株）：全小・中学校にスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置及び教育センターに教育心理専門員を配置

〈悩みの解消や深刻化の未然防止〉
- ★SNS教育相談の導入

〈学校管理職が学校経営を振り返る視点（物差し・レンズ）〉
- ■「戸田市版学校経営ルーブリック」の学校訪問等での活用

学校等横断小中一貫カリキュラム

プログラミング教育
- ■小１～中３まで年間６時間程度の時数確保
- ★（株）ベネッセ：テキストの共同開発、教員研修
- ★フューチャーインスティテュート（株）：教材「Root」の共同研究

デジタル・シティズンシップ教育
- ■小１～中３まで年間３時間程度の時数確保
- ★フューチャーインスティテュート（株）：指導助言等
- ★弘前大学、東京学芸大学、京都大学、スマートニュースメディア研究所：メディアリテラシー教育の実践及び研修、効果検証

英語教育
- ■小学校低学年からの実施、モジュール、CAN-DOリストの作成
- ■英検の受験費用助成（小６、中３）
- ★福島県西会津町：英語教育交流事業（ブリティッシュヒルズ）
- ★サイエイ・インターナショナル：英検３級対策講座

非認知（社会情緒的）スキルの育成

- ■「考え、議論する道徳」の推進
- ■「非認知(社会情緒的)スキル育成プログラム」の作成
- ■いじめ根絶ピースプロジェクト
- ★（特非）Sesame Workshop：セサミストリートカリキュラムの推進
- ★（一社）UNIVA：学校インクルーシブ化、社会モデル授業の共同研究
- ★IGS（株）：AiGROWによる非認知能力の測定
- ★アチーブメント（株）：自己肯定感向上に向けた特別授業

体力の向上

- ■部活動指導員・部活動サポート事業
- ■市長部局との連携：キッズ健幸アンバサダー事業
- ★（株）ルネサンス：教職員向け水泳実技研修
- ★西武ライオンズ、東京ヤクルトスワローズ、（特非）戸田スポーツクラブ、戸田中央メディックス女子ソフトボール部：体育の授業等への講師派遣
- ★JR東日本スポーツ（株）ジェクサー フィットネス&スパ

外部連携について（現状）

やさしいまちに、なりたい。TODA

産官学連携推進プラン2025

戸田市教育委員会

新たな学びの創造

アクティブ・ラーニングの推進・教員研修の高度化
文部科学省 / CoREF / 慶応義塾大学 / 共栄大学 / Benesse（株）/FCEJ（株）

PBL・探究的な学びの推進
インテル（株） / （株）キャリアリンク / COLEYO（株）
ダイワボウ情報システム（株） / （公財）日立財団 / （株）LX DESIGN

プレゼンテーション力の向上
（株）リバネスキャピタル / フューチャーインスティテュート（株）
（同）未来教育デザイン / （一社）アルバ・エデュ

STEAM教育の基盤づくり
中村学園大学 / インテル（株） / Adobe（株） / リコージャパン（株）
（株）アバロンテクノロジーズ / ビープロジャパン（株）

理数教育の充実
お茶の水女子大学 / 東京理科大学 / 埼玉大学 / 日本薬科大学（株）/ リバネスキャピタル
（株）steAm / 東京ガス（株） / （株）ナリカ / （株）リコー/サーモフィッシャーサイエンティフィック
（特非）グリーンガーディアンズ / エルプレイス / Code for TODA

リーディングスキルの研究
国立情報学研究所 / 東京理科大学 / 筑波大学 / （一社）教育のための科学研究所

英語教育の充実
福島県西会津町 / 国立教育政策研究所 / 青山学院大学 /（株）内田洋行
（株）サイエイ・インターナショナル / （株）ボーダーリンク / （株）リンク・インタラック

GIGAスクール構想の推進

ICT環境整備・ICTのマストアイテム化
Google（同）/ Microsoft（株）/ インテル（株）/ Adobe（株） / （株）内田洋行
ダイワボウ情報システム（株） / 富士電機ITソリューション（株） / NTTコミュニケーションズ（株）
セイコーエプソン（株） / ASUS（株） / Lenovo（同） / （株）EDUCOM / セキュアロジック（株）
（株）SPRIX / Benesse（株）/（株）Loilo /（株）ジャストシステム /（株）COMPASS
（株）EdLog / （株）理想科学工業 /（株）TOA /（株）RSコネクト / （株）フルノシステムズ
ものつくり大学

デジタル・シティズンシップ教育の推進
弘前大学 / 東京学芸大学 / 京都大学 / 法政大学 / フューチャーインスティテュート（株）
スマートニュース メディア研究所 / （一社）メディア教育研究室

プログラミング教育の推進
フューチャーインスティテュート（株） / （株）Benesse / ソニーマーケティング（株）
（株）アーテック / （株）ナリカ / （一社）CEE ジャパン / （特非）みんなのコード

EBPM・EIPPの推進

教育政策シンクタンク外部アドバイザリーボード
東京大学 / 日本大学 / 慶応義塾大学 / 上智大学 / 青山学院大学
イエール大学 / 堺みくに法律事務所 / 丸の内総合法律事務所 / （一社）UNIVA

各種調査分析等の共同研究
国立教育政策研究所 / 東京大学 / 慶応義塾大学 / （株）LITALICO
IGS（株） / スマートニュースメディア研究所 / ハイラブル（株）/ 半熟仮想（株）

教育総合データベースの構築
こども家庭庁 / （株）内田洋行 / Ddrive（株） / （株）EDUCOM

誰一人取り残されない教育の推進

生徒指導・教育相談の充実
埼玉県警 / 青山学院大学 / LINE（株） / 東京メンタルヘルス（株）

不登校対策支援
埼玉県教育委員会 / 北海道大学 / 秋田大学 / 北翔大学 / （認定NPO）カタリバ
埼玉県立大学 / 立教大学 / 跡見学園女子大学 /（株）WEBQU教育サポート
日本薬科大学 /（株）学研エル・スタッフィング /（株）トライグループ / スタンドバイ（株）

特別支援教育の充実
国立特別支援教育総合研究所 / 東京学芸大学 / 獨協医科大学 / 帝京大学
（株）LITALICO / ソフトバンク（株） /（株）学研教育みらい /（一社）UNIVA

放課後の学習支援
（株）学研エル・スタッフィング / （株）トライグループ / （株）サクシード

体力の向上

授業支援・部活動支援
日本体育大学 / 青山学院大学 / 國學院大學 / リーフラス（株）/（株）ルネサンス
東京ヤクルトスワローズ / 西武ライオンズ / 戸田中央メディックス女子ソフトボール部
（特非）戸田スポーツクラブ

非認知能力の育成

道徳教育・キャリア教育の充実
早稲田大学 / 開智未来大学 / フューチャーインスティテュート（株） /（株）F学
（特非）セサミ・ワークショップ / アチーブメント（株）/ KCJ GROUP（株）
（一社）日本経済団体連合会 / 住友生命保険（相） / スタートライン（株）

外部連携について

○産官学と連携することでどのようなよさがあるかを理解することから
①最先端の知のリソースを教室に入れられる
②働き方改革に直結する（アウトソーシング）

○「外部機関と連携すると教職員の業務に負担感が増す」との意見をよく聞くが、全く負担がないということはなく、何事も変革をしようとする際には、一定の負担感を感じる。

○教職員が負担と感じるのは、各種調査や保護者対応、慣例的な行事、即効性の期待できない（what to 型）研修などであり、子供を育むための本来業務であれば、負担を感じても教職員が「やるべきこと」と感じるはず。

○産官学と連携することで、プログラミング教育のコーディングをはじめ、教師がやらなくてもよい作業は、協力依頼などができ、効率性があがることも多々ある。

○これまで自前主義の慣例で続けている教育活動は、「子供を主語とした教育の推進のため」にという目的に達成に向けて、産官学との連携のメガネを通して見つめ直すことは、ボトムアップ的にこれまでの教育活動を見直すチャンスになる。そのような成功体験が、自校のカリキュラムマネジメントの自走につながるなど、産官学との連携という新しい風を職員室に吹き込むことにより、学校改革のトリガーになる可能性がある。

外部連携について（基本的な方針）

■外部連携に関しては、具体的な基準は示していないが、
①持続可能な関係か
②子供たちの生きる力の育成と教師の負担軽減の両面において、
協力と信頼に基づいて長期的な**Win-Win**のパートナーであるか

・最先端の知見を得る（実証研究ができる）
・各校の自走につなげる（学校の企業とつながりたい
という思いを実現）

教育委員会は学校と企業をつなぐ

■教育委員会は新たな学び等の原材料や人財は用意（料理は各校で）
例）校長会議後に企業プレゼンを随時入れる

外部連携について（基本的な方針）

▶教員の負担軽減と「持続可能な支援体制」を構築する視点

〇高度な教育を提供する一方で、現場の教員の負担を増やさないことも重要な基準
〇人的リソースの提供や業務の代替（伴走型サポート）を持続的に行う

▶「AIに代替されない力」「21世紀型スキル」の育成につなげる視点

〇知識の詰め込みではなく、「21世紀型スキル（情報活用能力、問題解決能力など）」「非認知能力（社会情動的スキル）」「AIを使いこなす力」などの育成をサポートできるカリキュラムや知見を持っている（例：IntelやGoogle等との連携）

▶PBLにおける「アイデア提案」から「実行・検証」まで伴走する視点

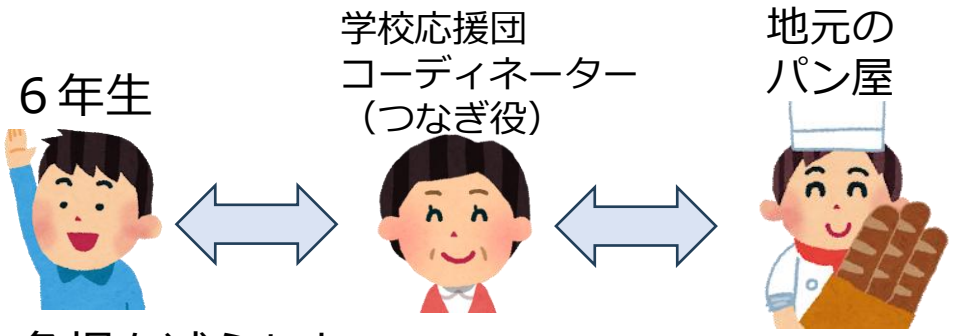
〇子供たちがアイデアを出すだけで終わるのではなく、企業や地域、市役所と連携して「商品開発」「ルールメイキング」「地域課題の解決」などを実際に「実行・検証」する実践型のホンモノに触れるPBLまで深く伴走する。

事例（小学校と地域のPBL連携）

■ 総合的な学習の時間「簡単レシピで親の負担を減らそう」

■ きっかけ

コッペパンの販路拡大を希望



・親の負担を減らしたい
・簡単に作れておいしいパン
※レシピをパン屋にプレゼン



■ 連携内容

簡単に作れて売れる（おいしい）パンを作ろう

■ 成果

目標50個に対し200個を完売できた／大きな達成感と喜びを実感

■ 課題

児童が自ら全クラスを回り、商品の宣伝活動を行ったが、より多くの人へ届ける活動にしていけなかったことが課題である

事例（Intel等のSTEAM教育関連企業との連携）

市教育委員会と学校の思い

■最先端の学習空間を作りたい

▶次世代メディアルームへの刷新： 従来のパソコン室をアップデート
▶ワクワクする空間の創出： ハイスペックPCや3Dプリンタなどを備え、高度な学び（STEAM教育など）を実現できる環境を整備

■実社会と繋がる新しい学びへの転換をしたい

▶本物・一流との出会い
教員が産業界と連携し、プロや最先端に触れる機会を創出
▶質の高い探究学習の推進
教科の枠を超え、学びを実社会や実生活と結びつける（戸田型PBLの進化）
▶新しい学習観へのアップデート：
「知的好奇心（夢中・無邪気）」を最大限に引き出し、最新技術を効果的に活用する教育へ転換

最先端のテクノロジー空間を活かし、実社会と結びついた探究的な学びへと教育を転換する

かねてより学校は子供たちが知的好奇心を高め「わくわくする場所」でありたいと思っている。本物や一流や最先端に触れる学びももっとあってよいのでは。

PC端末は、
”Bicycle for the Mind”（知の自転車）
に、また、教室は、
“Knowledge Creation Lab”（創知ラボ）
“Intellectual Atelier”（知のアトリエ）
に、との強い思いもある。

学校が「わくわくする学びの拠点」となるための鍵。それは、設備投資というハードウェアだけでなく、教師と子供が共に新しい学びの文化を築く、その「姿勢」こそ大切だと思っている。

日本教育新聞 2025年（令和7年）12月1日

視点 Opinion

「わくわくする学びの拠点」に

中学校にハイテク機器



戸ヶ崎 勤
埼玉県戸田市教育長

11月、中学生のうちからテクノロジーに触れてもらおうと、埼玉県戸田市の中学校の特別教室に多数のハイテク機器が設置された。その狙いとこれからの学校設備の在り方を同市の戸ヶ崎勤教育長に寄稿してもらった。

昔の学校には、顕微鏡、望遠鏡、オルガン、鉄棒など一般家庭にはないものがたくさんあった。学校は、子どもたちが知的好奇心を高め「わくわくする場所」でありたい。努力は夢中に勝てず、義務は無邪気に勝てない。それには、本物や一流や最先端に触れる学びも欠かせない。GIGAスクール構想の1人1台端末の整備は画期的だが、スペックなどでは制約がある。これを補完し、より高度で多様な学習を可能にする仕組みも必要である。

その一つの方向性が、従来のパソコン室などをメディアルームとして再生する取り組みである。先日、企業のご尽力で〝STEAM Lab〟に続き、本市中学校に〝STEAM CAMPUS〟が開設された。ハイスペックPC、3Dプリンタ、レーザーカッター、デジタル顕微鏡、液晶ペンタブレット、音楽制作（DAW）機材、クロマキー合成が可能な動画配信システム、映像編集ソフトなどが備わり、データ分析やデジタル作品づくりなど、豊かな発想を形にでき専門的で没入感のある学習ができる〝知のアトリエ〟となっている。多様な探究的な学びが展開でき、各教科の学びを深化させることにもつながっていく。こうした学習環境は、情報活用能力の育成や、創造力・表現力・協働性を一層高めることが期待できる。

さらに、学校全体をハイテク化していく意義も大きい。VR／AR機器の活用、共有モニター、廊下のデジタルサイネージ、理科室でのセンサーを使った実験データの収集、体育館でのモーション解析を活用したフォーム指導など、校内のどこでもシームレスにデジタルをフル活用できるようになれば、学校全体を学びの空間として捉え直し、多様な学習スタイルや居場所を提供できる。

こうした学習環境は、AIやIoTが社会基盤となる時代に向け、デジタル技術を道具として使いこなす力や、新しい技術に柔軟に対応し、主体的に活用していく姿勢を育むことができる。子どものうちからテクノロジーと創造を結び付ける体験を積むことは、将来の学びや職業選択にも大きな影響を与える。学校がハイテク化し、子どもたちが自らの発想をデジタルで形にできるようになるとき、学びはより自由で魅力的なものへと進化する。

学校が「わくわくする学びの拠点」となるための鍵。それは、設備投資というハードウェアだけでなく、教師と子どもが共に新しい学びの文化を築く、その「姿勢」にほかならない。

（随時掲載します）

STEAM教育の基盤づくりの実践

▶Society5.0など社会とテクノロジーの関係がますます密接になる時代に必要な教育の実現

「AIでは代替できない能力」「AIを活用する能力」の育成

戸田型PBL
(Project Based Learning)

＋

創造性
文理融合
テクノロジー活用

教科等横断による課題発見・解決的な学び

STEAM教育の視点を取り入れた
PBLへ発展

intel「Skills for Innovation」
データの活用、プログラミング、デジタルコンテンツの制作、シミュレーション、モデリング、AI・機械学習など先端テクノロジーを活用するためのスキル群の育成

▶インテル株式会社との連携



STEAM教育研究

STEAM Labの活用によるSTEAM教育の事例創出（先端テクノロジー活用）

＋

市内教員研修

◇市教委主催研修でIntel Teach Programに基づくPBL研修の実施



有識者による指導・助言・研修

中村学園大学　教育学部　山本朋弘 教授
Intel Teach Program研修講師

Lab環境構築支援及びパートナー協力

intel　Adobe　RICOH リコージャパン株式会社　Avalon Technologies, Inc.

市内全中学校にレーザー彫刻機を導入

市内中学校に新たなテクノロジーを活用したものづくり環境を整備します！

戸田市 独自の挑戦!!

子どもたちの知的好奇心を今まで以上に高めるため、市内全中学校へハイスペックデジタル工作機械（レーザー彫刻機）を導入し、創造性あふれる学びを実現します。

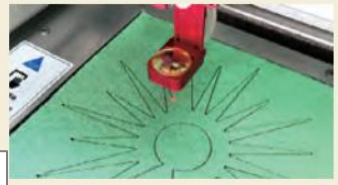
Oh-Laser

ものつくり大学 INSTITUTE OF TECHNOLOGISTS

ハイスペックデジタル工作機械（レーザー彫刻機）とは？

戸田市独自の挑戦！ 全中学校に3台ずつ設置します！

布などにオリジナルの印字ができます。また、木やアクリル板の切断や彫刻などの加工もできます。





完成品一例



画用紙を切断したポップアップカード



ジーンズ素材への加工



木材に彫刻した木札



アクリル板を切断したジグソーパズル

どんなよさがあるの？

※一般的な3Dプリンターとの比較

- 材料費が安い！
- 加工スピードが速い！
- さまざまな素材を加工できる！
- 精密な加工ができ、美しい仕上がりに！

小さなパーツは数分で完成します

子どもたちの学びはどう変わるの？

① 美術科や技術・家庭科での創作活動の幅が広がります。

② 教科の学習だけでなく、総合的な学習の時間でも、新たなテクノロジーを活用したものづくりについて意識が高まります。



学習意欲や創造力の向上につながります

ものづくりを通した学びの幅が広がります



戸田市立戸田中学校の『STEAM CAMPUS』

Core Lab

- PBLを中心とした探究・総合的な学習
- 教科学習
- プログラミング(制御含む)学習
- 協働学習
- 発表などアウトプット
- 学校外との交流

デスクトップPC・モニター×13式
(教員用1式、生徒用12式)



電子黒板×1台

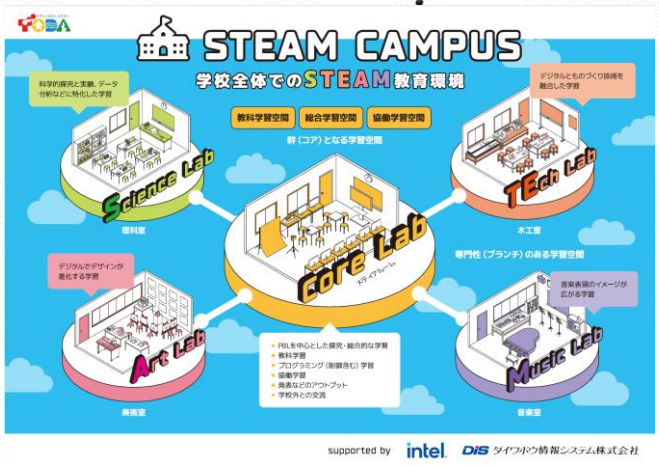


動画撮影・配信環境×1式
カメラ、三脚、クロマキー、スイッチャー



画像動画編集・制作用
クリエイティブツール





Science Lab

科学的探究と実験、データ分析などに特化した学習

ノートPC
×2台



デジタル顕微鏡



データロガー
×9台



TEch Lab

デジタルとものづくり技術を融合した学習

ノートPC×2台



3Dプリンター×1台



Art Lab

デジタルでデザインが進化する学習

ノートPC
×2台



3Dプリンター
×1台



液晶ペンタブレット
×2台



活用支援

- 機器研修、授業デザイン研修の提供
- インテル®Skills for Innovation フレームワークの展開

Music Lab

音楽表現のイメージが広がる学習

ノートPC×2台



DTM環境×2式
DAWソフト(Cubase AI)
マイク、ヘッドホン、MIDIキー



©2025 DAIWABO INFORMATION SYSTEM CO. ,LTD.
CONFIDENTIAL

事例（Intel等のSTEAM教育関連企業との連携）

■ Intel Teach Programから Skills for Innovationへ



「21世紀型スキル」についての理解を深め、プロジェクト型学習による児童生徒主体の「思考支援型授業デザイン」を、ワークショップ形式で学ぶ。



中学校教師を中心に約２０名が受講
Intel SFIゴールドアンバサダー認定者が中心となり、SFIのデザインを取り入れたPBLを校内で推進する。

最先端のテクノロジーを活用できる学校を当たり前にするため、SFIのデザインへの理解や授業実践を各校で自律的に推進できるように一層支援していく

事例（管理職研修に係る企業連携）

■アチーブメント株式会社

「働きがいのある会社ランキング」において、長年ベストカンパニーに選ばれており、大学生など就活者などにとって憧れの企業

戸田市カリキュラム・マネジメント研修会
（管理者対象）



アチーブメント株式会社代表
取締役会長兼社長
青木仁志様

自己肯定感と目標達成能力を
高めるプロジェクト（PBL）





新曽小学校と喜沢小学校で連携

「本物や一流（最先端）に触れる」機会について企業と学校をつなぐ

事例（LITALICOとの連携）

■LITALICO教育ソフトを全小・中学校に導入

教育の原点である特別支援教育こそ、新しい２K（科学・根拠）の導入を

□平成３０年度から株式会社LITALICOと連携し、「個別の教育支援計画及び個別の教育指導計画作成支援システム」を開発してきた。エクセル版の実証を経て、令和６年度から全小・中学校においてアプリケーション版「LITALICO教育ソフト」を活用する。
システムは以下３点から成る。

□「まなびプラン」
アセスメントに基づく「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成ができる

□「まなび教材」
まなび教材授業で使える教材がWEB上に約１３，０００点掲載されている。まなびプランに紐付いており、アセスメント結果によるおすすめの教材を表示する機能あり

□「まなび動画」
校内研修等で活用可能な特別支援教育に関する研修動画

